

1月の野菜の見通し

令和4年12月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,315	平年 並み	11,500	77	99%	100	1.4	0.0%	千葉・神奈川産は生育順調で平年どおりの出方を見込む。年末に相場が上がった後、年明けは保合いで始まる予想。ただ、冷え込みが厳しいと減少する気配もあり中下旬も相場は保合いか。見通し単価は前年並みも平年を2割下回る。
はくさい	13,901	平年 並み	14,101	39	103%	64	3.0	0.0%	茨城産は生育順調で十分な数量がある見込み。上旬は連休絡みで需要あり保合い予想も、中旬からは引き合い落ち着き相場展開は厳しめか。予想入荷量は前年・平年並み、見通し単価は前年並みも平年を3割以上に下回る。
キャベツ	15,005	やや 多い	13,580	79	91%	109	5.8	0.0%	愛知・千葉・神奈川産は生育順調。上旬は出荷体制が控えめだが中旬からは平常出荷に戻り増量となろう。予想入荷量は前年並みで平年を若干上回る。見通し単価は前年を下回り平年を3割下回る水準。
ほうれん そう	1,282	平年 並み	1,348	595	90%	616	2.0	0.2%	年内は前進傾向で12月上旬まで数量が多かったが、以降は前進の反動と気温低下により減少となった。今後も1月中旬頃までは少なめの見込みで、年末に上昇した相場から保合いとなるも、下旬には数量回復により相場反落の気配。予想入荷量は前年並み～微減で平年をやや下回る。見通し単価は前年・平年を1割下回る。
ねぎ	5,065	平年 並み	4,969	256	105%	316	31.0	0.6%	千葉・埼玉・茨城産は生育順調で太物傾向。上旬は出荷体制が控えめで数量少なく相場は保合い推移も、中旬からは出荷本格化して弱めの気配。予想入荷量は前年・平年をやや上回る、見通し単価は前年を上回るも平年を1割下回る。

1月の野菜の見通し

令和4年12月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	4,611	平年 並み	4,531	374	102%	458	-	-	燃油高の中、気温低下により出方が落ち着いているが、年明けは年末からの滞荷が残り相場下落となる例年同様の流れに。徐々に荷が動き出し、月末は恵方巻関連の需要で相場回復とみる。予想入荷量は前年・平年を若干下回り見通し単価は前年並みも平年を1割下回る。
トマト	5,215	平年 並み	5,571	339	94%	337	3.6	0.1%	主産地の熊本産は前年のような病害多発はなく十分な数量を見込む。年明けは年末からの滞荷が残り相場下落。予想入荷量は前年を上回り平年並み。見通し単価は前年・平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)